

境川かわまちづくりに向けた検討

Consideration for Sakai River Town Planning

水循環・まちづくり・防災グループ 研究員 八町 裕浩
 審議役 土屋 信行
 水循環・まちづくり・防災グループ 研究員 阿部 充
 水循環・まちづくり・防災グループ 研究員 黒木 健二
 主席研究員 麓 博史

1. はじめに

一級河川利根川水系境川（以下「境川」という）は、千葉県浦安市（以下「市」という）のほぼ中央を流れる延長約4.8kmの河川である。市は、かつて漁業を中心とした集落であったが、昭和40年から着手した2度の公有水面埋立事業により約4倍の面積になった。埋立事業の度に新しい街並みが形成され、境川もそれに伴い延伸され、図-1の現在の姿になった。

埋立事業以前の境川は、現在の東水門で東京湾と接しており、漁業地として多くの船が係留されるなど人々の賑わいがあった。現在も関係団体等によって利用され、親しまれている市のシンボリックな河川であるが、境川流域の歴史的建造物や水辺空間の価値が十分に認識され、活かされているとは言えない状況である。令和元年度に行った市民アンケートでは、境川を利活用したいという意見が多くあった。

本検討は、上記の背景の下、境川とまち側を含めた空間形成及び利活用促進を目指すことを目的に、「かわまちづくり」支援制度への登録に向け懇談会を開催し、意見を聴取しまとめたものである。

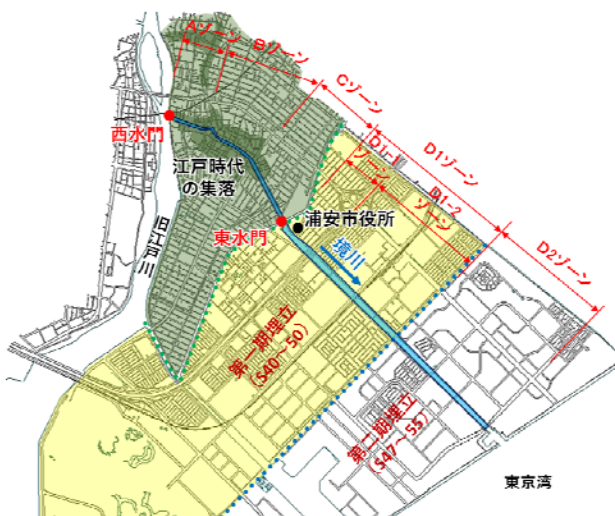


図-1 市街地形成の経緯

2. 懇談会の概要

2-1 参加者

懇談会は、境川沿川の自治会、境川を利活用している団体及び商工観光関係の団体（以下「関係団体」という）、河川管理者である千葉県に参加いただいた。

また、水辺都市や水辺の利活用、景観・土木デザイン、都市計画などに関する豊富な知見を有する学識者として、法政大学の陣内特任教授、早稲田大学の佐々木教授に参加いただいた。

2-2 懇談会の日程

懇談会は、表-1の日程で、第1回は会場形式、第2回及び第3回は、感染症対策等の社会情勢を鑑みて、オンライン形式で開催した。

表-1 懇談会日程

回	開催年月日	開催場所/方法
1	令和4年1月15日	境川沿川及び市役所会議室
2	令和4年2月10日	オンライン形式
3	令和4年3月29日	オンライン形式

3. 実施内容

懇談会の参加者及び内容を表-2に示す。

表-2 懇談会参加者及び内容

回	参加者	内容
1	・学識者 ・沿川自治会	・境川沿川まち歩き ・意見交換
2	・学識者 ・沿川自治会 ・関係団体	・境川における関係団体の活動の説明 ・意見交換
3	・学識者 ・沿川自治会 ・関係団体 ・千葉県	・境川での様々な活動について意見交換 ・市役所周辺エリア（D1-1ゾーン）の整備について意見交換

第1回は、利活用には沿川自治会の賛同が必要であることから沿川自治会に参加していただいた。自身のエリア以外の情報共有を図るため、学識者と境川沿川のまち歩きを実施し、意見交換を行った。

第2回は、第1回懇談会の参加者に関係団体を加え、境川各エリアで実施している活動内容について説明を

していただき、情報共有を図った。

第3回は、河川管理者も加わり、境川の更なる活動の発展や市が整備する境川の市役所周辺エリア整備について意見交換を行った。

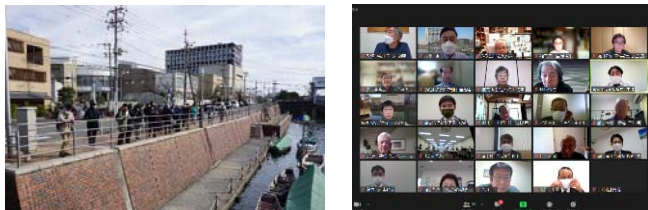


写真1 懇談会開催状況

(左：第1回まち歩き状況、右：第3回意見交換状況)

4. 懇談会の成果

懇談会では、利活用に向けての課題、境川の風景、今後やりたいことや提案に関する意見があり、関係団体がゾーン毎、季節毎に実施している活動を取りまとめることができた(図-2)。これらは、境川かわまちづくりを進める上で、基礎となる重要な情報となった。

懇談会で出された意見を以下に示す。

(1) 利活用に向けての課題

- ・2つの水門による水の循環や水質に課題がある。
- ・立ち入り禁止で利用できない親水施設や安全に利用できない施設がある。
- ・利用時の手続きが煩雑である。

(2) 境川の風景

- ・昭和30年代は、子どもたちは川で遊んでいた。
- ・20年前はハゼ釣り等で水辺と親しんでいた。
- ・昔の浦安は汽水域で半農半漁の風景であった。
- ・旧市街地から埋立事業で形成された市街地へと移り変わる景観の特色があり、境川がその景観を繋いでいる。
- ・ゾーン毎に史跡やビューポイントがある。

(3) 今後やりたいことや提案

- ・泳げる川にしたい。泳ぐ練習ができるとうよい。
- ・パドルレース大会、Eボート大会、カヌーマラソン大会を行いたい。
- ・子どもたちのためのイベントを開催したい(七夕祭り、灯籠流し、お囃子船のパレード、音楽会など)。
- ・子どもが自由に水上で遊べる環境づくり。子どもの遊び場が川となつてほしい。
- ・使う人の良識、子どもに関しては親が教育するなど、もっと住民に任せて使えるようにしたらよい。
- ・市役所の前にある親水施設に2階建てのオープンテラスを建て、上でお茶を飲んだり、下では水辺に触れられるとうよい。

- ・点としての景観を線から面にするには花と緑と水辺が重要。その中でも境川は中心となる存在である。
- ・自転車で境川を安全に周遊できると面白い。
- ・安全に水面にアプローチできる施設が設置されたら、いつでも誰でも利用できることに繋がり、カヌー等の活動がより活発になる。

団体名/活動場所	元町Aゾーン 西水門～新橋	元町Bゾーン 新橋～江川橋	元町Cゾーン 江川橋～東水門	中町Dゾーン 東水門～入船橋	新町D2ゾーン 入船橋～河口
境川であそぼう実行委員会			境川クリーンアップ 自然体験活動(釣り体験等)		
浦安水辺の会			境川クリーンアップ 境川リバーウォーク	まはせの柱船調査 夏休み親子はじめてハゼ釣り教室 シニア向けハゼ釣り教室	
浦安市カヌー協会			Eボート体験 境川クリーンアップ 千葉県カヌー大会(11月)	水辺に乾杯 カヌー練習(常時)	春まつりカヌー体験会(東野プール)
浦安市郷土博物館		乗船体験(年数回) 文化財めぐり(適宜)	木造船こぎ手の育成(月1回) 境川クリーンアップ		
ふるさと浦安かっぱ行			自主清掃及び船上から浄化呼びかけ 浄化活動キックオフ(市民祭り)		
うらやま農親まちづくりフォーラム			境川クリーンアップ 浦安市農親まちづくり連続講座 浦安農親まちづくり賞表彰		
みどりのネットワーク			境川クリーンアップ 「アゲキスプロジェクト」に参加・協力	川の食づくりへの協力	
一般社団法人浦安観光コンベンション協会			東水門のべらの育成 浦安灯籠流し境川(9月) Eボート体験	ピオトーブ、田んぼ(境川沿いの小学校等)3～12月 ピオトーブ、田んぼ(明海の丘公園)	
浦安商工会議所			カフェテラスin境川 浦安春まつり(釣り体験等)		
公益社団法人浦安青年会議所			移住旅行生へのボート乗船体験 カフェテラスin境川(8級グルメ、野点) 浦安春まつり		
			境川クリーンアップ 観水ADウォーキング ハゼ釣り体験会		

図-2 関係団体の活動整理表(案)ゾーン別

5. おわりに

全3回実施した懇談会で、関係団体の活動内容に関する情報共有や利活用に関する多くの意見をいただくことができた。また、境川は、周辺に史跡やゾーン毎に特色ある風景があり、かわまちづくりのポテンシャルが高いことも共有できた。一方で、水質や施設等に課題もあるが、利活用のニーズがあることから、課題を解決していくことで、利活用が促進されると推察される。

今後は、かわまちづくり計画の策定・登録を目指すとともに、部分的な利活用や課題解決に向けた取り組みから検討・実施・検証し、境川利活用の継続と可能性を広げていくことが求められる。

最後に、懇談会開催にあたり本検討事業発注者である浦安市役所をはじめ、法政大学陣内特任教授、早稲田大学佐々木教授、千葉県葛南土木事務所、境川沿川自治会、関係団体の方々には多大なるご協力とご指導をいただきました。ここに厚く御礼申し上げます。

<参考文献>

- 1) 浦安市：境川修景整備検討会報告書，2020
- 2) 浦安市：浦安市都市計画マスタープラン，2021